

静岡音楽館AOIのSNSのご紹介です。

- コンサートのウラ情報 ●AOI主催公演のご案内
 - AOI主催公演のチケット販売状況
- など情報発信中!!



●「静岡の名手たち」とは？

静岡音楽館AOIが1995年の開館からずっと継続しているオーディションで、いまでは静岡の音楽家たちにとって登竜門的な存在となっています。

いいね👍❤️をして最新情報を手に入れよう!



まもなく、締切です。

第13回 アマチュア・アンサンブルの日♪

11/23(木・祝) 12:00開演(11:30開場)

申込締切／4月21日(金) 必着

今年もアマチュア・アンサンブルの日♪を開催します。AOIの舞台に立ちたいアマチュアのみなさまのご応募をお待ちしています。



詳しくは各募集要項をご覧ください。
募集要項は静岡音楽館AOIのホームページからダウンロードできるほか、7階受付カウンターでご用意しています。

第12回 アマチュア・アンサンブルの日♪
(2022.11.23)
撮影：日置真光

公演アンケートについて

コンサートの際、お配りさせていただいているアンケートですが、webからでもご回答いただけるようになりました。各プログラムノートにQRコードを掲載させていただいています。ご協力いただけますと幸いです。

新型コロナウイルス感染症 対策について 静岡音楽館AOIからのお願い

静岡音楽館AOIでは新型コロナウイルス感染症について静岡市等関係機関からの最新の情報の収集に努めるとともに、感染予防・拡大防止に細心の注意を払い対策を講じてまいります。お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【静岡音楽館AOIの取組】消毒液をロビー等に設置しています。館内は消毒液を使用した清掃を行うとともに、換気に努めています。ホールの座席等は抗菌・抗ウイルスコーティングを施工しました。

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、2023年度をもって退会をご希望のかたは、2024年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員(2023年2月末現在)50名順

- (株)アオイテレック
- (株)SBSプロモーション
- かわした歯科クリニック
- (株)ジェイアール東海ホテルズ
- ホテルアソシア静岡
- (株)タミヤ
- (株)メディア・ミックス静岡

コンサートシリーズ2023-24

主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫

協 賛 アイワグループ



次のことを予めご了承の上、
チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。
- * 託児サービスはありません。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

至 浜松

至 東京

静岡市美術館

松坂屋

ホテルアソシア静岡

バリエー

JR静岡駅

静岡科学館

ホテル

グランビルズ静岡

至 浜松

至 東京

駐輪場(有料)

駐輪場(有料)

東海道本線・新幹線

静岡科学館

静岡音楽館AOI

CONCERT HALL SHIZUOKA

静岡音楽館 AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館) 9:00~21:30開館

〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

お 問 合 せ

054-251-2200

AOI 検索

静岡中央郵便局

合同建物内

QRコード



AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌
MAR.2023 No.109

春号

インタビュー 高木綾子 (フルート) × 須関裕子 (ピアノ)

ランチタイム・コンサート
高木綾子&須関裕子 フルートとピアノの調べ

インタビュー 堀米ゆず子 (ヴァイオリン)

オーケストラを聴こう クラシック名曲コンサート

インタビュー 三浦一馬 (バンドネオン)

子どものためのコンサート 三浦一馬 バンドネオンの世界

速報 AOIのオープン・デイ2023

オルガン¥500コンサート
夏休みコンサート 木村理佐

学芸員雑記
静岡音楽館AOIの
YouTubeチャンネルのご紹介
～ AOIのパイプオルガンについて～



インタビュー 高木綾子 (フルート)

須関裕子 (ピアノ)



2023年5月17日(水)「ランチタイム・コンサート
高木綾子 & 須関裕子 フルードとピアノの調べ」に
ご出演いただきます、高木綾子さんと須関裕子さ
んにお話をうかがいました。

●お二人はどのようなきっかけで楽器を始められたのでしょ
うか。

高木／3歳から8歳までピアノを中心に習っていましたが、手も
身体も小さく才能も無かった？ と言うことで見切りをつけ、家に
あったフルードをやってみることになりました。単旋律の楽器な
ので、楽譜が簡単! と言うのが第一印象でした。

須関／ピアノは、小さい頃は遊びのひとつのような感じてし
た。弾くことが好きで、褒められると嬉しくて、楽しく始められて
いたのだと思います。

●お二人が演奏家を目指したきっかけを教えてください。

高木／初めて自分の為の楽器を買いに行く時に、当時の先
生から、趣味でやるのかプロを目指すのか、を問われ、頑張り
ます、と言ってしまった記憶と、高校進学の際に勉学よりも音
楽かな、と進学先を選びました。

須関／恩師である寺西昭子先生との出会いが大きかったで
す。音楽を深く愛していらっしゃる先生で、親身に丁寧に教え
てくださり、ピアノを続けていきたいと思うようになりました。
そしてコンクールで賞をいただくと、いろんな所で演奏でき、
たくさんのお会いがある、そういった喜びが感じられて、演奏
家になりたいという気持ちが強くなったように思います。

●今回のランチタイム・コンサートでは、小品を中心とした作
品をご選曲いただきました。プログラムの聴きどころを教えて
ください。

高木／小品ではありませんが、なかなか聴く機会のない作品
でも情景が浮かびやすい曲を選曲しました。それぞれが作曲
者の個性溢れる作品となっており、フルードの表現力の幅広
さと共に、音楽の世界がこんなにも広いのだ、と言うことを楽
しんでいただきたいと思います。

●お二人は、ソリストはもちろんアンサンブル奏者としてもご
活躍されています。ソロとアンサンブルの違いやそれぞれの
魅力について教えてください。

高木／ソロ、アンサンブルともに目指す所はあまり変わりませ
んが、独奏はフルードの音色をホールの中で響かせることに
集中することが多いです。

アンサンブルに関しては作品の面白さだけでなく、共演者の
グルーブをいかに掴みとるか、そこから生まれる新しい音の
感触を楽しみながら演奏しています。

須関／ソロの曲を演奏するのは、あらゆることをひとりで、と
いう大変さもありますが、ピアノソロだからこそ表現できること
があると思います。共演者と演奏しながら、対話のように投げ
かけたり受け取ったり融合したり…自分ひとりでは作り出せない
ものが生まれる喜び、それがアンサンブルの素晴らしさだと
感じます。どちらも好きで、ソロとアンサンブル両方を学ぶこと
でお互いに生きてくる、と日々感じるようになってきました。

●須関さんは、静岡音楽館AOIでの2008～10年度ピアノ伴
奏法講座の修了生でいらっしゃいます。当時の思い出や印象
深い出来事などをお聞かせください。

須関／本当に贅沢な講座で、受講させていただけてとても幸
せでした。

野平先生の演奏を目の前で観たり聴いたり、素晴らしい先生
方との共演は、かけがえのない経験です。毎回、静岡に来る
のが心から楽しみでした。そして最初のレッスン時の、AOIホ
ールの響きの感動、今も忘れられません。

弾くことだけでなく、さまざまなアプローチで勉強していく大
切さを教えていただき、この講座を通して「伴奏」というもの
に対する概念が変わったように思います。

●最後に、コンサートに向けてのお客様へメッセージをお願い
いたします。

高木／このホールでは、ソロ、室内楽、オーケストラでも吹かせ
ていただけていますが、2階席まで音が届く感じが大好きです。
音だけでなくビジュアルでも、ぜひ好みのポイントからフル
ードとピアノと一緒に音楽の世界一周を楽しんでください。
須関／お昼のひととき、AOIホールでの名曲揃いのプログラム
を、ゆっくりと味わっていただけましたら幸いです。素晴らしいフ
ルードティストの高木綾子さんとピアノの調べ、ぜひ皆様にお楽
しみいただきたいと思います。ご来場、お待ちしております!

ランチタイム・コンサート 高木綾子 & 須関裕子 フルードと ピアノの調べ 5/17 水

22歳以下
¥1,000

11:30 開演 (10:45 開場) ※12:30 終演予定
全指定 ¥1,800 (静岡音楽館倶楽部会員¥1,620)
[Pコード=224-220]
※このコンサートは休憩がありません。 ※未就学児入場不可

曲 目
山田耕柝：《この道》の主題による変奏曲
西村朗：カヤール
F. ショパン：英雄ポロネーズ 変イ長調 op.53
C. ドビュッシー：シランクス
A. ピアソラ：タンゴ・エチュード より 第3番
G. ショッカー：後悔と決心
F. ドップラー：ハンガリー田園幻想曲 op.26



インタビュー 堀米ゆず子

2023年6月18日(日)「クラシック名曲コンサート」公演にご出演
いただき、日本を代表するヴァイオリン奏者、堀米ゆず子さんに
お話をうかがいました。

●ヴァイオリンを始めたきっかけを教えてください。
父も従姉妹もヴァイオリンを弾いていました。生まれた時から耳にしていた楽器
でごく自然と。最初はピアノ、そしてヴァイオリンを始めました。

●現在はベルギーのブリュッセルに在住されているそうですが、そのきっかけは
何だったのでしょうか。また、日本とベルギーの行き来は大変かと思いますが、ど
のくらいの割合でお仕事されているのでしょうか。
1980年以来ベルギーと日本の行き来は続いています。エリザベートコンクール時
のホストファミリーとはいまだに付き合いがあります。年によってまちまちですが
大体年に4回ぐらい行ったり来たりしています。ブリュッセルでは王立音楽院で
教えてもいます。

●今回のプログラムについてお聞きます。シベリウスのヴァイオリン協奏曲の聴
きどころについて教えてください。
非常に特殊な出だしから始まりシベリウス特有の長いフレーズ、深みのある音楽
と3楽章の土着リズムなどが特徴です。

●1980年のエリザベート王妃国際音楽コンクールで演奏したこともあり、その後
各地で演奏する機会も多かったのではないかと思います。堀米さんにとってシベ
リウスとはどんな作曲家でしょうか。
生まれた時同居していた従姉妹(川上朋子さん、元N教団員)が桐朋学園の卒業
試験のために練習していた曲です。アイザック・スターンのレコードのジャケットも
覚えていますし、高校になって初めて楽譜を見た時は「この曲覚えてる」とほとんど
身体の中に入っていました。潜在意識に入っていたのでしょ。

●今回共演する沼尻竜典さん、神奈川フィルハーモニー管弦楽団とは何度か共
演されておりますが、それぞれどんな印象をお持ちでしょうか。
沼尻さんは桐朋の素晴らしき後輩です。非常に高い才能の持ち主で和声、作曲、
曲の構築法などどれをとっても頼りになる指揮者です。彼はまたオペラへの造詣
も深く、ドラマティックなシベリウス劇場をできるのではないのでしょうか。また神奈
川フィルさんともちょうどコロナ前にちょうど同じこの曲を共演しました。楽しみに
しております。

●ヴァイオリンについてもお聞かせください。堀米さんが所有されている楽器は
1741年製ヨゼフ・グアルネリ・デル・ジェスのとのことですが、この楽器の音色の特
徴などを教えてください。
この楽器は実は非常に難しい。ストラディバリウスとは違い一音一音創って行か
ないと鳴りません。しかしなんといっても大きなホールで後ろの席まで音が届くそ
の力はものすごい物があります。今や身体の一部と言っても過言ではありません。

●静岡音楽館AOIでの演奏は2007年3月9日の「堀米ゆず子 & 児玉桃 デュオ・コ
ンサート」、2016年1月10日の「ブラームス交響曲全集」以来3度目となります。楽し
みにしております。
最後に静岡の聴衆に公演に向けてのメッセージをお願いします。
AOIは素晴らしい音響のホールです。そこでまた皆様にお会いできること、そして長
年弾き続けてきたシベリウスを分かち合えることを今から楽しみにしております。



オーケストラを聴こう クラシック 名曲コンサート

6/18日 22歳以下
¥1,000

15:00 開演 (14:15 開場)
全指定 ¥6,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥5,400)
[Pコード=224-405]
※未就学児入場不可

出 演
沼尻竜典 (指揮)
堀米ゆず子 (ヴァイオリン)
神奈川フィルハーモニー管弦楽団

曲 目
P.I.チャイコフスキー (マカリストー 編) :
アンダンテ・カンタービレ (弦楽合奏版)
J.シベリウス : ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47
P.I.チャイコフスキー : 交響曲第5番 ホ短調 op.64



インタビュー 三浦一馬

(バンドネオン)

2023年7月8日(土)「子どものためのコンサート 三浦一馬
バンドネオンの世界」にご出演いただきます、バンドネオン奏
者 三浦一馬さんにお話をうかがいました。

●バンドネオンとの出会いを教えてください。また、数多くある楽器の中でバ
ンドネオンをお選びになった理由は何でしょうか。
出会いは小学校4年生のころ。この楽器が紹介されているテレビ番組を偶然
見たのがきっかけでした。機械仕掛け風でいてアンティークな趣、また他の楽
器からは感じたことのない不思議な音に魅了され、自分でも弾いてみたいと
思うようになりました。

●バンドネオン奏者になろうと決意したきっかけについて教えてください。
まだ学生でありながらも、有難いことに演奏の機会はそれなりにありました。と
ても嬉しい一方、自分がアマチュアなのかプロなのか悩むことも多くなり、立
場と意志をはっきりさせる上でも、16歳のときに「プロデビュー・コンサート」を
敢行しました。

●バンドネオンの見た目や音は少しアコーディオンに似ていると感じたことが
あるのですが、バンドネオンの特徴や魅力について教えてください。
確かに、その音や見た目から混同されることも多いです。しかし、基本的な原
理は同じですし、現にアコーディオンを参考に作られた部分も多くあるようデ
ス。バンドネオンの一番の特徴は手元のボタン配列にあり、パソコンのキーボ
ードのように、ドレミの音階がランダムに配置されています (同じボタンでも、
楽器の押し引きでも音が変わる)。既にこれ自体が魅力とも言えますし、バン
ドネオンが持つ、どこか影のある音色、それこそ、この楽器が持つ深みではな
いでしょうか。

●今回のプログラムの聴きどころを教えてください。
この公演は、「子どものためのコンサート」というテーマが掲げられています。特
に、この楽器を初めて聴いてくださる皆さまに、余計な予備知識や先入観なく、
感じたことを大切にいただきたために、話を進める前には、まず演奏から
スタートしたいと思っています。その後、皆さんとのイメージを一緒に共有しつ
つ、その音楽やバンドネオンについてのレクチャーをさせて頂ければと考えていま
す。皆さんがどんな発想をされるのか、それこそが見どころ・聴きどころですな!

●三浦一馬さんといえば、ピアノ作品の演奏を思い浮かべる方も多いと思
います。三浦さんにとってピアノはどのような存在でしょうか。
バンドネオンという楽器と巡り合わせてくれた、恩人のような存在でもあり、こ
れだけ弾き続けていても、もちろん越えることのできない神様のような存在で
もあり、しかし同じ楽器を弾いているという意味では、恐れ多くも一生のライバ
ルでもあり…。なかなか言葉で表現することは難しいですが、それでも、ピアニ
ラが生涯をかけて模索した新しい音楽、そしてその精神というのは、私も全
身全霊で受け継いでいかなければならないと常に感じています。

●今回の共演者は、ピアニストの長富彩さんですね。三浦さんと長富さんは
これまでも共演されていますが、長富さんについてご紹介いただけます
でしょうか。
長富さんとは、気付けば10年以上の共演歴があります。その小柄で柔らかな
風貌とは裏腹に、いざピアノを弾き出すと、そのダイナミックな演奏と、共演し
ているこちらまで圧倒されてしまう程の超絶技巧の持ち主です。

●今回のコンサートに向けて、皆さまへメッセージをお願いいたします。
なかなか、間近で見ることの少ない楽器ではありますが、一度でも生の演奏
を聴けば、バンドネオンの魅力や楽しさを、きっと感じていただけるはず…。
会場にて、みなさんにお会いできますことを楽しみにしています!



子どものためのコンサート

三浦一馬 バンドネオンの世界

7/8土 22歳以下
¥1,000

15:00 開演 (14:15 開場)
全指定 ¥2,500 (静岡音楽館倶楽部会員¥2,250)
親子券 ¥3,000

[Pコード=224-457]
※このコンサートは、小学生を主な対象としています。
※3歳児からご入場いただけます (チケットが必要です)。
※演奏中、静かにご鑑賞いただけなくなった場合は、
一旦ご退席くださいますようお願いいたします。

出 演
三浦一馬 (バンドネオン)
長富彩 (ピアノ)

曲 目
J.S.バッハ : 主よ、人の望みの喜びよ BWV147
M.d.ファリャ (P.コハンスコキ 編) : スペイン民謡組曲 より
A.ピアソラ : リベルタンゴ
ブエノスアイレスの冬 ほか



© Victor Entertainment

速報 AOIのオープン・デイ 2023

8/5(土)10:30～20:00

今年の夏も「AOIのオープン・デイ」を開催いたします。さまざまな催しをご用意してみなさまのお越しをお待ちしています。ぜひAOIへ足をお運びください。なお、お申し込み方法等詳細はちらし、ホームページ等でご案内いたします。

*新型コロナウイルス感染症の状況によっては内容等を変更する場合があります。

オーケストラ名曲のタベ

「静岡の名手たち」アンサンブル

18:00 開演(17:15 開場) *20:00 終演予定 ホール(8階)

出 演

野平一郎(指揮)、嶋田慶子(ヴァイオリン)

「静岡の名手たち」アンサンブル

【嶋田慶子、小川亜希子、小杉結、沼野朱音、萩原嘉乃、増田訓子(ヴァイオリン)、生駒宗煌、鈴木穂波(チェロ)、山西貴久(コントラバス)、諸田大輔、縄巻花笛(フルート)、塚本陽子(クラリネット)、入川奨(ティンパニ)】

荒井友美、加藤えりな、対馬裕美、外園萌香、宮川奈々、山田香子、山村妙子、湯原佑衣、吉原葉子(ヴァイオリン)、岡さおり、小室明佳里、坂口弦太郎、阪本奈津子、鈴木香奈江、御法川雄矢(ヴィオラ)、河野文昭、佐古健一(チェロ)、西山真二、松井理史(コントラバス)、荒絵理子、工藤亜紀子(オーボエ)、浦畑尚吾(クラリネット)、向後崇雄、田古佑久子(ファゴット)、阿部華苗、竹村淳司(ホルン)、栃本浩規、星野朱音(トランペット)

定員 600人(全指定・要申込・多数抽選)

*チケットの発送をもって当選の発表とかえさせていただきます
(当選者には7月20日までに oversend します)。

*未就学児はご入場いただけません。

*託児サービスはありません。

曲 目

L.v.ベートーヴェン：《コリオラン》序曲 op.62

ロマンス第1番 ト長調 op.40

第2番 ヘ長調 op.50

交響曲第7番 イ長調 op.92



パイプオルガン、やってるよ♪

① 10:30 開演(10:00 開場) *11:00 終演予定

② 12:00 開演(11:30 開場) *12:30 終演予定

ホール(8階)



出 演・曲 目

① 田宮亮(オルガン)

J.S.バッハ：トッカータとフーガ 二短調 BWV565 より トッカータ

J.ウィリアムズ(J.マーク・ベーカー編)：映画「スター・ウォーズ」より

② 石川=マンジヨル優歌(オルガン)

A.シルヴェストリ：映画「バック・トゥー・ザ・フューチャー」より メインテーマ

A.メンケン：映画「塔の上の塔の上のラブンツェル」より<輝く未来>

東野美紀：幻想水滸伝II より フーガ<我が主を讃えよ>

植松伸夫：Final Fantasy X より<ザナルカンドにて>

近藤岳：ペツォールトのメヌエットによるベダルソロ練習曲

越部信義：はたらくるま

L.ヴィエルヌ：ウェストミンスター の鐘

定 員

各600人(全指定・要申込・多数抽選)

*①②それぞれお申し込みください。

*チケットの発送をもって当選の発表とかえさせていただきます
(当選者には7月20日までに oversend します)。

そのほか、

- ロビーコンサート ●音のふしぎをさぐってみよう
- などを予定しています。

オルガン¥500コンサート

夏休みコンサート

木村理佐

7/26(水)11:30開演
(10:45 開場)

*12:30終演予定

全自由¥500

(3歳児より入場可。

チケットが必要です。)



出 演

木村理佐(オルガン)

曲 目

J.J.ペリー & G.キングスレイ：東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード・ドリームライツ

F.チャーチル & L.モーリー：映画「白雪姫」メドレー (大畑莉紗 編)

J.S.バッハ：小フーガ ト短調 BWV 578

G線上のアリア BWV1068

主よ、人の望みの喜びよ BWV 147

J.S.バッハ/C.グノー：アヴェ・マリア

J.C.ケルル：「かつこう」によるカプリッチョ

C.サン=サーンス：《動物の謝肉祭》より<白鳥>

久石譲：海の見える街(映画「魔女の宅急便」より)

あの夏へ(映画「千と千尋の神隠し」より)

V.A.ペトラリー：ソナタ・フィナーレ

毎年、完売必至の人気公演です。チケットはお早めにお求めください。

学芸員雑記

静岡音楽館AOIのYouTubeチャンネルのご紹介
～AOIのパイプオルガンについて～

静岡音楽館AOI 学芸員 渡邊亜沙

静岡音楽館AOIの公式YouTubeチャンネル「静岡音楽館AOI Concert Hall Shizuoka」をご存知でしょうか。約10年前に開設した古参チャンネルで、これまでにAOIの主催公演や講座等の動画をお届けして参りました。昨年夏からは「AOIの楽器紹介」もスタートし、第1弾はチェンバロ、第2弾はパイプオルガンをご紹介します。当コラムでは、最新動画であるパイプオルガンについてご紹介したいと思います。

今年で28歳を迎えるAOIのパイプオルガンは、フランスの由緒あるオルガン工房のアルフレッド・ケルン社によって製作されました。ケルン社の2代目社長であったダニエル・ケルン氏のもとで製作され、一度解体された後にオランダのアムステルダム港から清水港へ運び込まれ、クレーン車を使用してホールへ搬入されました。その後、組み立て作業、製作者らによる整音作業(パイプがよく鳴るように、パイプに吹き込む風やうた口を調整して音を整える作業)などを経て、1995年3月20日に完成しました。



AOIのパイプオルガン

写真の中央がAOIのパイプオルガンです。ホールで初めて見た方は圧倒された方も多いのではないしょうか。AOIのパイプオルガンは高さ8.5m、幅9.5mのサイズを誇り、パイプの数は2,868本、パイプオルガンのなかで



パイプオルガンの裏側

に収められています。一番長いパイプは約5m、一番短いパイプは約1cmとサイズはさまざまです。

このパイプからどうやって音が鳴るのか、その答えはホール外の「送風機室」にあります。この送風機室には、ふいごと同じ仕組みを持つ「送風装置」があります。

送風装置から送られた風が、パイプオルガン内部の「風箱」に送られ、それぞれのパイプに行き渡ります。この状態でオルガニストが鍵盤を押すと風箱の弁が開き、パイプに風が流れ、はじめて音が鳴ります。(ちなみに現在、送風装置のほとんどは電気によって動きますが、昔は手動で風を送っていたというので驚きです。)送風機室や送風装置の様子は動画内でご紹介していますので、ぜひ動画をご覧ください。

パイプオルガンは、パイプ1本につき1つの音色が鳴る仕組みとなっており、重厚感たっぷりの荘厳な音色から、小鳥のような軽やかな音色まで多彩な音色を奏でます。オルガニストはこれらのパイプの組み合わせを考え、「ストップ」と呼ばれる音栓を操作することで、オリジナリティあふれる独自の音楽をつくります。



鍵盤とストップ

鍵盤の左右にある黒い栓がストップで、AOIのパイプオルガンには41種のストップがあります。オルガニストは、このストップから音色を組み合わせることで唯一無二の音楽をつくります。作品によっては扱うストップの数が多くなり、操作ミスや音色変更に時間を要してしまいます。このような問題が起きないように考案されたものが「音色の記憶装置(メモリーシステム)」です。これは、音色の組み合わせをパイプオルガンに内蔵された記憶装置にあらかじめ記憶させて、演奏中にボタン一つで瞬時に切り替えるシステムです。この記憶する作業のことを「レジストレーションを組む」と言い、オルガニストは本番前に現地でこの作業を行います。

作品によっては、オルガニストだけではボタンの操作が難しい場合が多々あります。そのような場合は、オルガニストの脇にアシスタントの方(レジストラント)が控えています。

YouTube動画では、実演を交えながらパイプオルガンについてさらに詳しくご紹介しておりますので、是非ご覧ください。またあわせてチャンネル登録もよろしくお願いいたします。

静岡音楽館AOI
Concert Hall Shizuoka

